

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名	一般国道392号 上茶路防災	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道白糠郡白糠町上茶路 至：北海道白糠郡白糠町上茶路	延長	2.6km		

事業概要：一般国道392号は釧路圏白糠町と十勝圏本別町を結ぶ幹線道路であるが、上茶路地区に存在する地滑りの活発化に伴い毎年のように通行止めを余儀なくされている。上茶路防災は地域の安全で確実な交通を確保するための延長L=2.6kmの2車線道路である。

事業の目的、必要性：一般国道392号は釧路圏白糠町と十勝圏本別町を結ぶ地域の交通及び物流を担う幹線道路である。また、平成15年度供用予定の北海道横断自動車道本別ICへのアクセス道路としての機能も受け持つこととなる。しかし、上茶路地区に存在する地滑りが近年、範囲を拡大し活発化しているとともに挙動も不規則になってきており、毎年のように通行止めを余儀なくされている。上茶路防災は地滑り活動による影響を解消し地域の安全で確実な交通の確保に大きく寄与するものである。

全体事業費	33億円		計画交通量	1,700台/日	
費用便益比	B/C	総費用	総便益	基準年	
	1.9	40億円 事業費：30億円 維持管理費：10億円	77億円 走行時間短縮便益：67億円 走行費用減少便益：9億円 交通事故減少便益：2億円	平成15年	

- 事業の効果等**
- ・道路の防災対策・危機管理の充実（現道に防災点検箇所が存在。地滑り1箇所、落石・崩壊1箇所、その他（浸食）1箇所。）
 - ・道路の防災対策・危機管理の充実（積雪地域内における冬期末改良区間有り。堆雪スペースが不足。）

関係する地方公共団体等の意見：釧路地方総合開発促進期生会、白糠町：一般国道392号は地域を支える物流ルートであるとともに地域社会の生活に大きく関与している。恒久的対策により安全性・定時制を早急に確保されたい。

